

防災・災害看護委員会

委員長：島村 里香

1. 活動方針および活動目標

- 1) 支部（地域）の防災・災害に関するニーズを把握し、支部（地域）活動の中で防災意識を高める働きかけを実践する。
- 2) 災害支援ナースの応援派遣・受援に関する（施設用）標準マニュアルを整備する

2. 活動内容

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日 等	委員
定例委員会 【マルイトOBPビル】 【ナーシングアート大阪】	地域の防災意識向上チーム、応援・受援マニュアル作成チームの活動目標に沿って検討した	全11回	15名

3. 活動実績

実施項目 【開催場所】	内 容	実施日 等	参加者
「各施設における 防災対策に関する ニーズ調査」	目的：医療機関、診療所、看護系学校、訪問看護事業所、保健所、施設における 防災対策に関するニーズを知る 1) 防災対策整備について 2) BCPの整備 3) 緊急連絡体制・安否確認 4) 防災訓練・防災学習の機会 など	12月25日～ 1月21日	送付：992施設 回収：208施設 回収率：21%
研修「災害時、対象者を どう守りますか？それぞ れの立場から」 【マルイトOBPビル】	保健所、病院、訪問看護ステーションの 立場から防災対策、地域や施設との連 携、BCPについて、各施設からの報告及び 意見交換を実施	2月28日	会場参加：23名 オンライン参加 76名
災害支援ナース受援マニ ュアル作成	「災害支援ナースを受け入れる施設の 看護管理者の方へ」作成	3月21日	応援・受援マニ ュアル作成チーム
【活動の概要】 大阪府下の医療機関、診療所、看護系学校、訪問看護事業所、施設における防災対策に関するニーズ調査を行った。送付992施設、回収208施設、回収率21%で、回答頂いた8割の施設で災害発生時のマニュアルが整備されていた。しかし、BCPの作成においては6割程度にとどまり、必要性を感じていても「見本がない」、「企画者がいない」「組織の理解や認識がない」などの回答があった。調査結果を分析し、課題をあきらかにした。 研修会では、保健所、病院、訪問看護ステーションの立場からそれぞれの防災対策やBCP、地域連携の視点で講演頂き意見交換を行った。会場参加23名、オンライン参加60名、合計83名の参加があった。 災害支援ナース応援・受援マニュアルとして、「災害支援ナースを受け入れる施設の看護管理者の方へ」を作成した。			

4. 課題・その他

- 1) 防災対策に関するニーズ調査の結果より、BCPの策定・運用など地域の防災意識を高めるための取り組みを行う
- 2) 災害支援ナース応援・受援マニュアルを活用し、ブラッシュアップを行う
- 3) 災害支援ナースのフォローアップ研修の検討